

# 北岡 有喜

きたおか ゆうき / Kitaoka Yuki

|                     |  |   |
|---------------------|--|---|
| <p>所属・役職</p>        | <p>社会医療法人 岡本病院(財団)京都岡本記念病院 副院長<br/>                 特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター 顧問<br/>                 総務省 地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー</p>  |  |
| <p>活動拠点</p>         | <p>京都市を拠点に全国展開中</p>  |   |
| <p>略歴</p>           | <p>京都大学大学院修了（医学博士）、同志社大学大学院修了（政策科学博士）<br/>                 1985年 医師免許取得<br/>                 1985年 京都大学医学部附属病院（婦人科学産科学教室・研修医）<br/>                 1986年 市立舞鶴市民病院（産婦人科・医員）<br/>                 1994年 大津市民病院（産婦人科・副医長）<br/>                 1995年 国立京都病院（産婦人科・医師 → 2022年・医長）<br/>                 2003年 厚生労働省（近畿厚生局・臨床研修審査官）兼務<br/>                 2003年 国立京都病院（医療情報部・部長）<br/>                 2004年 独立行政法人国立病院機構京都医療センター（医療情報部・部長）<br/>                 2006年 独立行政法人国立病院機構本部 情報化統括責任者（CIO）補佐官兼務<br/>                 2006年 厚生労働省（保険局総務課保険システム高度化推進室）兼務<br/>                 2006年 ITコンソーシアム京都 運営委員 兼 医療情報化部会 部会長兼務<br/>                 2014年 地方公共団体情報システム機構（経営審議委員会委員）兼務<br/>                 2015年 総務省 地域情報化アドバイザー兼務<br/>                 2014年 総務省 地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー兼務<br/>                 2021年 現職<br/>                 2022年 デジタル庁 デジタル推進委員兼務</p> |   |
| <p>こんなことを支援できます</p> | <p><b>①医療・介護・健康情報化</b><br/>                 ・個人向け生涯健康・医療・福祉・介護履歴管理サービス「ポケットカルテ」の活用支援。<br/>                 ・地域共通診察券「すこやか安心カード」の自治体での有効利活用を支援。<br/>                 ・全国の公的病院の情報化（電子カルテ導入等）に関するアドバイスを提供。</p> <p><b>②マイナンバー・地域情報化全般</b><br/>                 ・社会保障・税番号制度（マイナンバー）の自治体での適正な運用を支援。<br/>                 ・自治体システムの標準化・共通化・行政手続オンライン化の推進を支援。</p> <p><b>③地域包括ケア・BCP 基盤</b><br/>                 ・医療機関内の情報共有と働き方改革に寄与する「職員ポータル」の活用支援。<br/>                 ・災害時等のBCP 基盤としてのクラウド活用・地域包括ケアの情報化を支援。</p>   |   |
| <p>自治体向けメッセージ</p>   | <p>「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」は、ITコンソーシアム京都の医療情報化部会で検討してきた成果を具現化したものです。貴自治体でも有効利活用していただければ幸いです。お気軽にお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。</p>   |   |

<主な専門分野> ※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

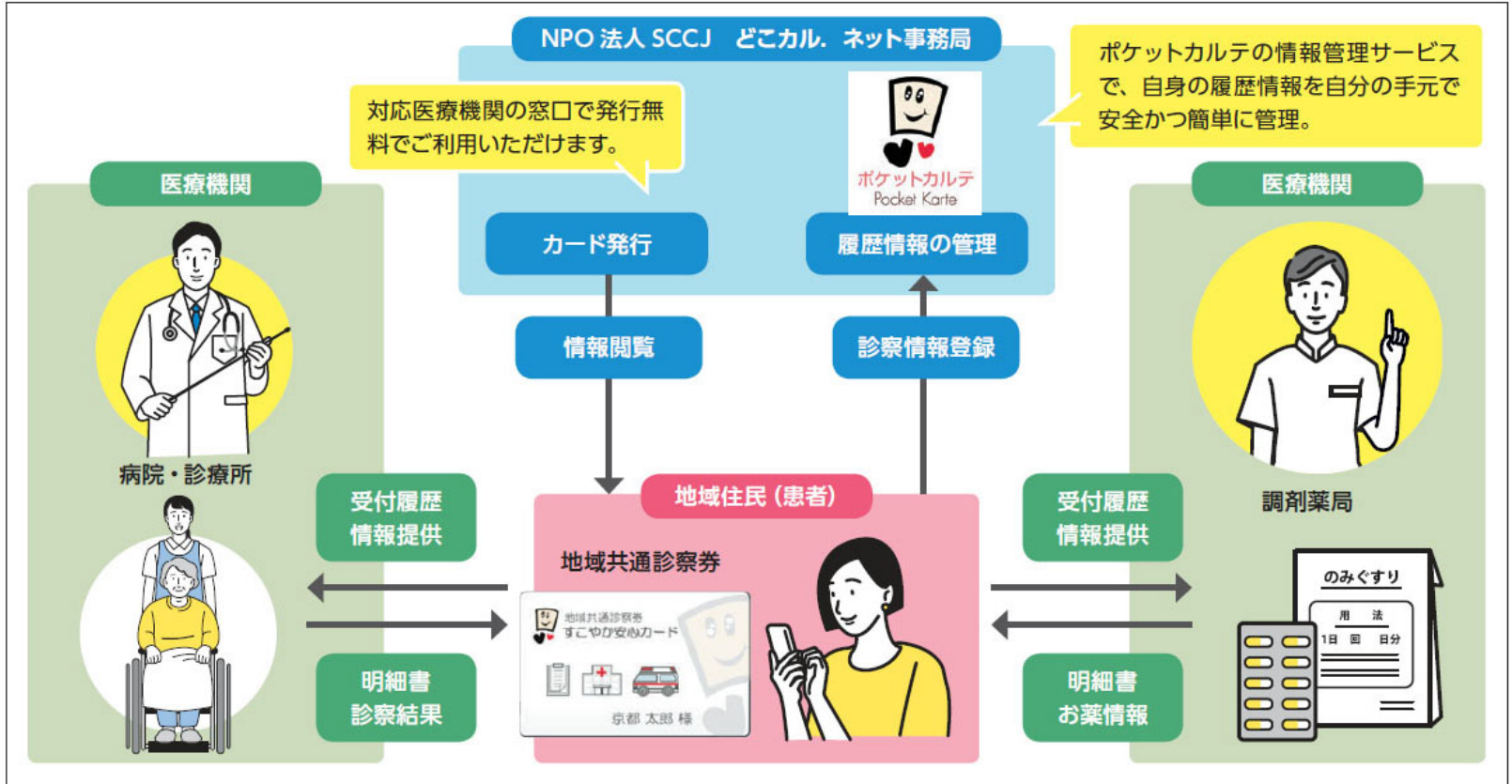
健 医療・介護・健康
 働 働き方
 生成 生成AI活用

<地域情報化に関する実績>

○これまでの経験業務・研究活動

医師兼エンジニア兼公共政策の専門家としての豊富な病院情報関連システム開発・実装・運用経験をバックグラウンドに、[特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター](#)顧問として、個人向け生涯健康・医療・福祉・介護履歴管理サービス「[ポケットカルテ](#)」及び地域共通診察券「[すこやか安心カード](#)」を考案し、運用を開始しました。これらのサービスは、利用者の生涯の健康・医療・福祉・介護にかかる情報を電子化（電子カルテ）して一元に管理し、簡単に閲覧可能とすることで更なる医療サービスの向上と個人の健康管理への貢献を目的としており、特定健診・保健指導データにも対応可能なサービスです。この成果に対して、2012年6月に総務省「情報通信月間」近畿総合通信局 局長表彰を受賞。また、2015年3月には[総務省「地域情報化大賞」大賞/総務大臣賞](#)を受賞しています。

図 「すこやか安心カード」のしくみ



▲地域共通診察券「すこやか安心カード」を活用することで、お薬手帳や医療費明細書、様々な検査結果など、対応医療機関から提供される医療情報を自分自身で簡単かつ安全に管理することができます。また、これら情報を必要に応じて医師等に提供することで、データを根拠とした質の高い医療サービスを受けることができます。

2022年10月からは、ポケットカルテクラウド上に、個々の医療機関向けの「職員ポータル」を実装し、医療機関内の様々な職種の円滑な情報共有と働き方改革に寄与すると共に、災害時等のBCP基盤として活用されています。

○これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問、或いは独立行政法人国立病院機構本部の情報化統括責任者(CIO)補佐官として、全国の公的病院の情報化（電子カルテ導入等）に関わってきました。長崎県の「あじさいネット」のVPNネットワーク等もその成果の一つです。

今後も、医師兼エンジニア兼公共政策の専門家としての豊富な病院情報関連システム開発・実装・運用経験と、自らが特許等を保有する個人向け生涯健康・医療・福祉・介護履歴管理サービス「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」や、個々の医療機関向けの「職員ポータル」実装等の知的財産を有効に利活用して、全国各地の保健医療・介護・福祉等の充実にかかる支援に、今年度も継続して取り組みたいと思います。

